台風19号災害
復旧への思いと力が結集

台風19号による豪雨災害では、市内各所で河川の氾濫により甚大な被害を受けました。

特に鹿島台地域では、吉田川の堤防決壊による浸水被害が深刻で、今もなお、多くの皆さんが不自由な避難生活を強いられ、不安な日々を過ごしています。

市では、被災された皆さんの一日も早い生活の再建・復旧に向けて災害復旧推進本部を設置し、各種支援や復旧事業を推進しています。

また、被災直後からこれまで、姉妹都市、災害時相互応援協定を結ぶ自治体や団体、企業などから人的支援、物資の提供など、心温まる支援をいただきました。

復旧には、広範囲に及ぶ浸水により、散乱、堆積した多量の稲わらやごみの撤去が第一歩でした。泥の除去、清掃、浸水で使えなくなった家財道具の運びだしなど、想像を超えるような大変な作業でしたが、市内外から多くのボランティアが駆けつけ、懸命に復旧作業に協力をいただきました。

災害ごみや稲わらの撤去には、自衛隊は約100人体制で、大崎市消防団は市内全域から、全団あげての体制で作業にあたっていただき、皆さんの力に勇気づけられました。

また、今回の台風19号による豪雨災害には、災害救助法の適用、さらには激甚災害の指定がなされ、国や県からの支援制度の新設や拡充が進められています。

被災された皆さんの生活・生業の再建のため、市では、民間住宅家賃の助成、住宅の応急修理制度、農地、農業用施設の復旧などの支援に取り組んでいます。

各種の支援情報については、今月の「広報おおさき12月号別冊」や市のウェブサイトで、お知らせしています。

今号では、市内の被害状況を振り返るとともに、各方面からいただいた、気持ちのこもったあたたかい支援などについて、お伝えします。

①排水作業の後、道路脇に積み上げられた大量の災害ごみ（10月18日撮影：上志田地区）、②・③鹿島台地域志田谷地地区の浸水前後の様子（②10月14日撮影、③10月30日撮影）。

市内の被害状況

11月18日(月) 午後5時現在

区分		大崎市	古川	松山	三本木	鹿島台	岩出山	鳴子温泉	田尻
避難所	人数（最多）	1,837	406	245	656	312	85	21	112
	人数（現在）	84	－	－	－	84	－	－	－
	世帯数（現在）	35	－	－	－	35	－	－	－
人的被害	軽症	1	1	－	－	－	－	－	－
住家	全壊	111	－	－	－	111	－	－	－
	大規模半壊	34	4	－	－	30	－	－	－
	半壊	229	52	9	11	146	－	－	11
	一部損壊（準半壊）	12	8	2	－	－	－	－	2
	一部損壊（10％未満）	263	165	17	13	54	1	－	13
	床上浸水 ※	373	56	8	11	287	－	－	11
	床下浸水 ※	237	150	17	10	50	1	－	9
公共施設	学校教育	12	3	1	－	2	2	2	2
	社会教育	11	3	5	－	3	－	－	－
	保育所・児童センター	4	1	－	1	1	1	－	－
	市営住宅	21	－	－	－	21	－	－	－
	その他	51	21	3	15	6	2	1	3
農業関連	農作物（ha）	1,568	815	25	182	267	－	－	279
	パイプハウス（ha）	13.3	0.2	0.2	0.01	12.1	0.1	－	0.7
	その他	481	62	40	62	216	36	1	64
観光関連	観光施設	9	－	2	－	1	1	1	4
	その他	3	3	－	－	－	－	－	－
道路	通行止め（最大）	177	55	12	22	63	3	9	13
	現在	3	－	－	－	2	－	－	1
その他被害	倒木	102	15	27	10	4	29	4	13
	土砂崩れ	329	8	58	17	13	77	－	156
	その他	342	94	53	167	11	13	1	3
停電	最多	920	－	850		70	－	－	－

※床上浸水は「全壊」「大規模半壊」「半壊」のいずれかに、床下浸水は「一部損壊」に含まれます。